



被害を最小限に 事前の対策が大切

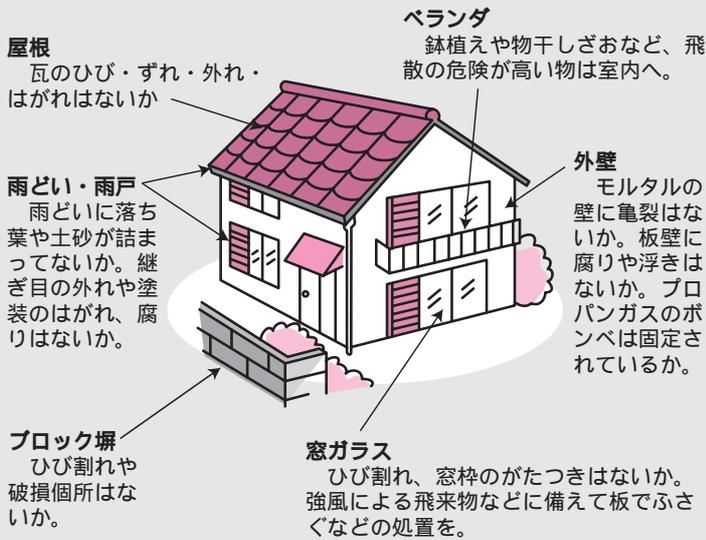
台風や豪雨はある程度予測できるため、事前の対策次第で被害を最小限に食い止めることができます。油断せず、日ごろから十分な対策を立てておきましょう。

日ごろからの心構えと準備 家の近くの危険場所と避難場

台風や豪雨のときはむやみに外出しないようにしましょう。瓦や窓などを点検し、特に商店では看板が風で飛ばされないように固定。浸水などの恐れがある

わが家の風水害対策

台風や大雨、強風。あなたの家の風水害対策は万全ですか。家の中や周囲をしっかりとチェックしてみましょう。



るときは、家財道具や生活用品を高い所へ移動することが大切です。

避難するとき

単独行動は避け、地域のひと協力し合って避難しましょう。お年寄りや体の不自由な人、病人などがいる家庭は、特に早めの行動が必要です。避難勧告を受けたら、危険を感じなくても速やかに避難を。また勧告がなくても、危険と判断したら自主的に避難しましょう。

避難するときは、電気やガスなど火の元の始末、戸締まりを確実に。また、行動しやすい服装で丈夫な運動靴、手袋なども持ちましょう。

なお、災害が発生、またはその恐れがあるときに、市長は状況に応じて「避難準備勧告」「避難勧告」「避難指示」を発令しますが、その基準は表3のとおりです。

把握しましょう 正確な気象情報

気象庁では台風の勢力を示す目安を、表4のとおり大きさと強さで表しています。大きさは、風速毎秒十五以上の強い風が吹いているか、または吹く可能性のある「強風域」の半径で区分。また、台風の強さは最大風速で区別しています。

台風や豪雨で強い雨が降り始めたら、テレビやラジオの気象情報に注意してください。また、気象情報で使われる言葉を正しく理解し、慌てずに予防策を立てましょう。雨や風などの数値や用語は表5のとおりです。

雨量などの情報は、テレビやラジオ以外にインターネットでも入手できます。主なホームページは次のとおり。

県土木部砂防課 http://www.pref.gunma.jp/h/06/d-saigai/hp/main_page_01.htm



非常用の持ち出し品を準備して

- 防災情報提供センター <http://www.wbosaijoho.go.jp> 国土交通省関東地方整備局利根川水系砂防事務所 <http://www.ktr.mlit.go.jp/tonesu/> 前橋地方気象台 <http://www.tkyo-jma.go.jp/home/mabashi/>

	注意報	警報
風	(強風注意報) 平均風速がおおむね毎秒13mを超え、主として強風による被害が予想される	(暴風警報) 平均風速がおおむね毎秒18mを超え、重大な災害が起こる恐れがあると予想される
大雨	(大雨注意報) かなりの降雨があって被害が予想される	(大雨警報) 大雨によって重大な災害が起こる恐れがあると予想される
洪水	(洪水注意報) 大雨、長雨、融雪などの現象によって河川の水が増し、そのため河川の堤防、ダムに損傷を与えるなどで災害が起こる恐れがあると予想される	(洪水警報) 大雨、長雨、融雪などの現象により河川の水が増し、そのため河川の堤防、ダムに損傷を与えるなどで重大な災害が起こる恐れがあると予想される

大きさ		強さ	
階級	風速毎秒15m以上の半径	階級	最大風速(毎秒)
表現なし	500km未満	表現なし	17m以上33m未満
大型(大きい)	500km以上800km未満	強い	33m以上44m未満
超大型(非常に大きい)	800km以上	非常に強い	44m以上54m未満
		猛烈な	54m以上